発信人 日本国特許庁(国際調査機関

	REC'D' 1 0 MAR 2005			
出願人	PCT			
東亞合成株式会社	WIPO			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
あて名	PCT			
T 105-8419	国際調査機関の見解沿 (法施行規則第40条の2)			
東京都港区西新橋一丁目14番1号	(伝通1) 250 第40 来 50 27 (P C T 規則43 の 2.1)			
	7%.¥ D			
	(日.月.年) (日.月.年) (日.月.年)			
	今後の手続きについては、下記2を参照すること。			
出願人又は代理人 の書類記号	今後の子がらについては、「他ととを派」しても			
国際出願番号 国際出願日	優先日			
	01.2005 (日.月.年) 20.01.2004			
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' C08L51/0	2. C08F251/00,			
D21H17/45, 17/43, 21/10	B01D21/01, C02F11/14			
出願人(氏名又は名称) 東亜合脈	戏株式会社			
1. この見解書は次の内容を含む。				
※ 第1 欄 見解の基礎				
第1個 優先権				
	第Ⅲ棚 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成			
第IV欄 発明の単一性の欠列 × 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定す	る新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、			
それを裏付けるための文献及び説明	明			
第VI欄 ある種の引用文献				
第VI欄 国際出願の不備				
第四柳 国際出願に対する意見				
2. 今後の手続き				
	高調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 いて国際調査機関の見解音を国際予備審査機関の見解書とみなさ			
際予備審査機関がPCT規則66.102(b)の規定に基づいたい旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この	見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。			
	•			
この見解審が上記のように国際予備審査機関の見解哲とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当				
な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。				
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。				
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を				
見解書を作成した日				
16.02.20	005			

特許庁審査官(権限のある職員) 中島 庸子

電話番号 03-3581-1101 内線 3455

8 4 1 6

様式PCT/ISA/237 (宏紙) (2004年1月)

東京都千代田区段が関三丁目4番3号

日本国特許庁(ISA/JP)

郵便番号100-8915

名称及びあて先

After those on his a state of the	
第1個 見解の基礎	
1. この見解書は、下	記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
□ この見解書は、 それは国際調査	語による翻訳文を基礎として作成した。 をのために提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解]示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 許を作成した。
a. タイプ	企列表
•	■ 配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	面。
	□ コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる
•	□ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	□ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
た配列が出風	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 顕時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出。
あった。	· · ·
4. 補足意見:	
	·
,	

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP·2005/000635

第V枫 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを災付る文献及び説明			
1. 見解	•		
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1 6	
進歩性(IS)	請求の施囲 請求の施囲	1 – 6	有 無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1 — 6	

2. 文献及び説明

請求の範囲1-6は、新規性、進歩性、産業上の利用可能性を有する。 国際調査報告で示した下記先行文献には、多糖類の存在下にカチオン性ラジカル 重合性単量体とアニオン性ラジカル重合性単量体とを重合して得られた、特定の要 件を満足する2種以上の両性高分子を併用してなる組成物が記載されていない。

[先行文献]

- 1. JP 2003-175302 A (東亞合成株式会社) 2003.05.24,全文献 & WO 03/20829 A1 & EP 1424367 A
- 2. JP 8-215686 A (栗田工業株式会社) 1996.08.27,全文献 (ファミリーなし)

発信人 日本国特許庁(国際調査機関) REC'D' 1 0 MAR 2005 出願人 PCT WIPO 東亞合成株式会社 あて名 PCT 国際調査機関の見解む T 105-8419 (法施行規則第40条の2) 東京都港区西新橋一丁目14番1号 [PCT規則43の2.1] 発送日 08, 3, 2005 (日.月.年) 今後の手続きについては、下記2を参照すること。 出願人又は代理人 G200502B の専類記号 優先日 国際出願日 国際出願番号 20.01.2004 (日.月.年) PCT/JP2005/000635 (日.月.年). 20.01.2005 国際特許分類 (IPC) Int. Cl' C08L51/02, C08F251/00; D21H17/45, 17/43, 21/10, B01D21/01, C02F11/14 出願人(氏名又は名称) 東亞合成株式会社

1.	この見解書は次の内容を含む。
	、
	第Ⅱ欄 優先権
	□ 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
	第Ⅳ柳 発明の単一性の欠如
	× 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを題付けるための文献及び説明
ļ	第VI欄 ある種の引用文献
	・ 第VII欄 国際出願の不備
	第VII- 類VII- 和UNI- 和UNI
2.	今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。
	この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答介書を提出することができる。
	さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。
3	. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解告を作成した日 16.02.20	0 5	•
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 中島 庸子	4 J 8 4 1 6
郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線 3455

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

·	第1欄 見解の基礎				
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。					
□ この見解書は、 それは国際調査	□ この見解書は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出された PCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。				
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 許を作成した。				
a. タイプ	 配列表				
	■ 配列表に関連するテーブル				
b. フォーマット	一 李面				
	□ コンピュータ読み取り可能な形式				
	「 Upget の同性USS)r 会社みる				
c. 提出時期	□ 出願時の国際出願に含まれる□ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された				
·					
	出順後に、調査のために、この国際調査機関に提出された				
3.	3. 立らに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が				
あった。					
4. 補足意見:					
·					
·					
	, \cdot				

国際調査機関の見解む

国際出願番号 PCT/JP2005/000635

第V欄 新規性、運歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(1)に定める免解、 それを災付る文献及び説明			
1. 見解		-	•
新規性(N)	請求の範囲 	1 — 6	
進歩性(IS)	請求の施囲 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	1 — 6	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-6	有

2. 文献及び説明

請求の範囲1-6は、新規性、進歩性、産業上の利用可能性を有する。 国際調査報告で示した下記先行文献には、多糖類の存在下にカチオン性ラジカル 重合性単量体とアニオン性ラジカル重合性単量体とを重合して得られた、特定の要 件を満足する2種以上の両性高分子を併用してなる組成物が記載されていない。

[先行文献]

- 1. JP 2003-175302 A (東亞合成株式会社) 2003.05.24,全文献 & WO 03/20829 A1 & EP 1424367 A
- 2. JP 8-215686 A (栗田工業株式会社) 1996.08.27,全文献 (ファミリーなし)